



将来は自動車保険の仕組みにも影響が…

自動運転車はいつごろ登場する？

自動運転のレベルにあわせて定義づけ

いわゆる自動運転の車というと、すべてを車がやってくれてドライバーは運転席にただ座っているだけ…というイメージが持たれがちですが、車がどの程度まで自動で運転してくれるのかは政府が定める何段階かのレベルに分かれています。

欧米では自動運転レベル（SAEベース）を5段階に分けて開発を進めています。

SAEレベル0は人間の運転者が、すべてを行うもの。レベル1は車両の自動化シス

テムが人間の運転者を時々支援し、いくつかの運転タスクを実施することができるもの。レベル2は車両の自動化システムが、いくつかの運転タスクを事実上実施することができる一方、人間の運転者は、運転環境を監視し、また、残りの部分の運転タスクを実施し続けることになるというもの。レベル3は自動化システムがいくつかの運転タスクを事実上実施するとともに、運転環境をある場合に監視する一方、人間の運転者は、自動化システムが要請した場合に、制御を取り戻す準備をしておかなけれ

ばならないというもの。レベル4は自動化システムが運転タスクを実施し、運転環境を監視することができる。人間は、制御を取り戻す必要はないが、自動化システムは、ある環境・条件下のみで運転することができるというもの。そして最終段階のレベル5は自動化システムが人間の運転者が運転できるすべての条件下において、すべての運転タスクを実施することができるというものです。

政府は最終段階である完全自動運転車を2025年をめどに市場化させたいという考えを示していますが、全世界的に開発競争が激しくなっていますので、普及の時期ももしかしたら早まることも予想されます。自動運転車の登場は自動車保険にも影響がでますので、今後の動きが注目されます。

SAE レベル 0	人間の運転者が、すべてを行う。
SAE レベル 1	車両の自動化システムが人間の運転者をときどき支援し、いくつかの運転タスクを実施することができる。
SAE レベル 2	車両の自動化システムが、いくつかの運転タスクを事実上実施することができる一方、人間の運転者は、運転環境を監視し、また、残りの部分の運転タスクを実施し続けることになる。
SAE レベル 3	自動化システムがいくつかの運転タスクを事実上実施するとともに、運転環境をある場合に監視する一方、人間の運転者は、自動化システムが要請した場合に、制御を取り戻す準備をしておかなければならない。
SAE レベル 4	自動化システムが運転タスクを実施し、運転環境を監視することができる。人間は、制御を取り戻す必要はないが、自動化システムは、ある環境・条件下のみで運転することができる。

保険についてのお問合せやご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。